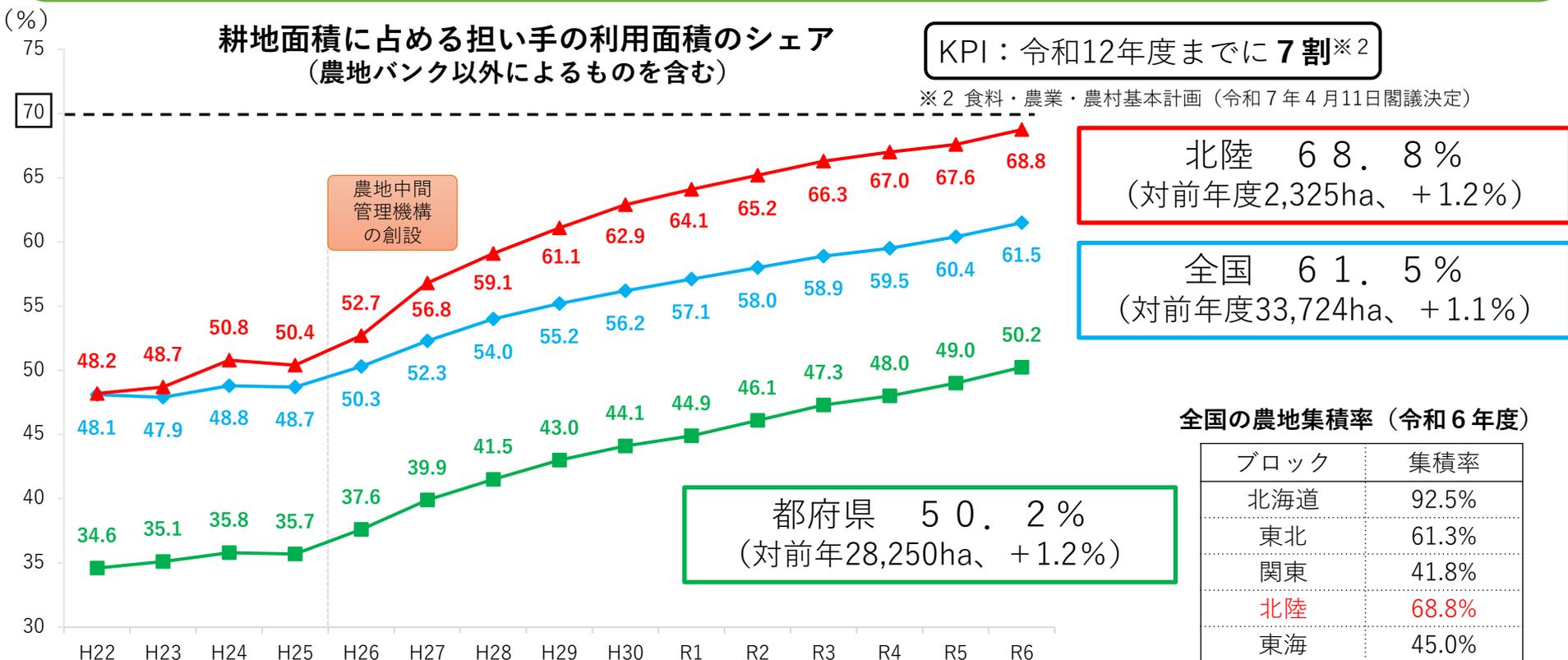


1 ブロック別の担い手への農地集積の状況

- 令和6年度の担い手※1への農地の集積面積は、**全国**で3.4万ha増加し、集積率(シェア)は**61.5%**(対前年度1.1ポイント上昇)となった。
- **北陸管内**は2,325ha増加し、集積率は**68.8%**(対前年度1.2ポイント上昇)。ブロック別では、北海道の92.5%に次いで**北陸が全国2位**となっている。



全国の農地集積率(令和6年度)

ブロック	集積率
北海道	92.5%
東北	61.3%
関東	41.8%
北陸	68.8%
東海	45.0%
近畿	37.5%
中国・四国	33.5%
九州	54.1%
沖縄	29.5%

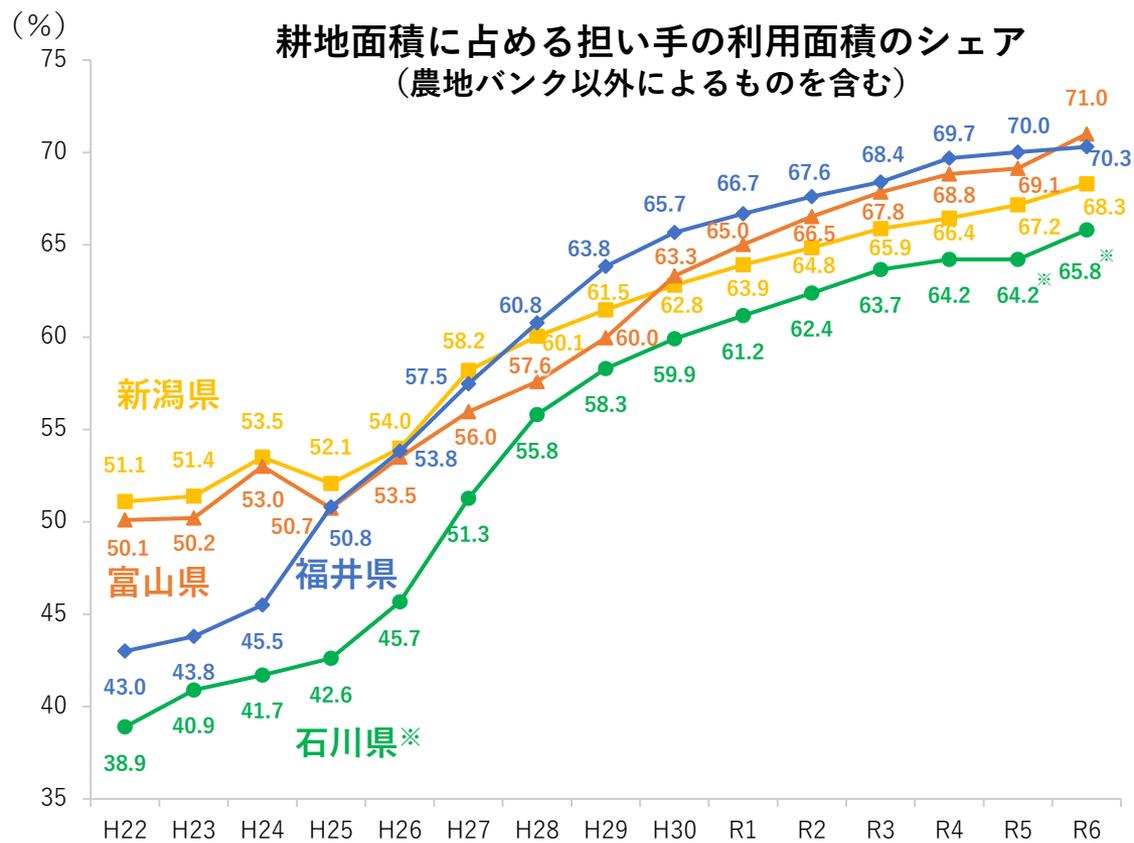
(注) 石川県七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町については、能登半島地震等による影響を踏まえ調査を休止し、令和4年度の集積面積を用いて集積率を算出。

※1 担い手
 ①認定農業者
 ②認定新規就農者
 ③基本構想水準到達者
 ④集落営農経営

(資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」(令和6年度版)
 注: 各年度の3月末時点の数値

2 北陸管内の農地集積の状況（県別）

- 北陸管内で農地の集積率が最も高い県は、**富山県の71.0%**(対前年度1.9ポイント上昇)。次いで、**福井県70.3%**（対前年度0.3ポイント上昇）、**新潟県68.3%**(対前年度1.1ポイント上昇)、**石川県65.8%***（対前年度1.6ポイント上昇）となっている



富山県	71.0%(対前年度+1.9%、+773ha)
福井県	70.3%(対前年度+0.3%、+30ha)
新潟県	68.3%(対前年度+1.1%、+1,476ha)
石川県*	65.8%(対前年度+1.6%、+46ha)

令和6年度集積率 上位都道府県（全国）

順位	都道府県	担い手への集積面積(ha)	集積率(R6)	増減
1	北海道	1,052,446	92.5%	0.7%
2	山形県	81,351	71.9%	0.8%
3	秋田県	104,287	71.6%	0.4%
4	佐賀県	35,405	71.4%	0.5%
5	富山県	40,730	71.0%	1.9%
6	福井県	27,753	70.3%	0.3%
7	滋賀県	34,281	69.1%	1.3%
8	新潟県	113,762	68.3%	1.1%
9	石川県	25,984	65.8%	1.6%
10	宮城県	81,126	65.5%	1.6%

※ 石川県においては、能登半島地震等の影響を踏まえ、令和6年度においては七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町の6市町で調査を休止し、令和4年度の集積面積を用いて集積率を算出している。また、令和5年度は県全体で調査を休止したため、令和4年度の集積率を据え置いている。

(資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」(令和6年度版)

注：各年度の3月末時点の数値